



まつりに1万1,000人が参加

“伝統とふるさと文化”のめばえ

“鷹巣町に新しい伝統とふるさと文化を。”と提唱して、婦人団体連絡協議会では関係団体の支援を受け、6月2日『ふるさと踊りと餅っこまつり』を開催。当日は婦人会や子供会など千人が、2時間余りにわたって町内の目抜き通りを鷹巣音頭で一巡。1万人の観衆の目を引きつけていました。また、児童公園ではモチツキなどで、訪れた多くの人びとのふれあいが深められるなど、新しい伝統の誕生となりました。

人 口 と 世 帯 数

(住民基本台帳による)

5月31日現在	(前年比)
総人口 25,010人	(24人減)
出生 20人	転入 55人
死亡 19人	転出 80人
男 12,163人	(19人減)
女 12,847人	(5人減)
世帯数 7,297世帯	(2世帯減)

行財政の簡素化、効率化をめざし

行政改革懇談会を開催

住民自治の基本に議論が集中

町では、行政改革推進本部（本部長＝出川禮一町長、本部長＝課、室、局長十九人）を四月に設置して、八月までに行政改革大綱を策定することになっていますが、民間の意見を反映させるため、各界の委員十人を委嘱して、「行政改革懇談会」を設置し、五月二十九日に初会議を開催しました。

町では、厳しい社会、経済情勢に対処するとともに、複雑多様化して増える行政需要に、適切に対応するため、行財政運営の全面的な見直しと、改善を図ることになり、八月をメドに行政改革大綱を策定することになったものです。

このため、町長、助役、収入役、教育長の四役と、十九人の課、室、局長の構成で、行政改革推進本部を設置して、作業を進めることにしていますが、各界の民意を行政改革に反映させるため、懇談会を置かれたものです。



五月二十九日の初会議では、辞令を交付したあと、出川町長が「常に行政の簡素化、コストの軽減に努めているが、懇談会の意見を取り入れ大胆に実行しなければならぬ」とあいさつを述べました。

行政の見直しや改善の基本原則は▽行政サービスの向上▽住民の理解と協力▽職員の参加：となっており、当面の課題として▽行財政の簡素効

率化▽行財政の責任領域の明確化▽自主財源の確保▽公共施設の管理運営等の合理化：を重点に進めるものです。

具体的には、事務、事業の必要性、重要性、効果性、妥当性などを客観的にとらえて見直しを行うものであります。

また、すべての事務、事業についても廃止、縮小、簡素化、委託、総合、移管などについて、なんらかの改善措置を講じるものです。

これらについて、懇談会でされた提言や意見は▽適正な納税が行われているか▽学校給食の使命は終り、母親の代わりをしているのでは▽教科書の父母負担

直接請求で臨時議会を開催

定数削減の改正請求は否決

されました。

地法自治法第七十四条第一項の規定にもとづき、掛泥・花田一司氏（69）から、条例の改正請求があったので、六月五日午前十時から臨時議会が開催されました。

条例の改正請求は「鷹巣町議会の議員の定数を減少する条例の一部改正」で、現行の定数「二十六人」を「二十人」に改めるよう求めたものです。

議会では、慎重に審議した結果、改正案は、反対多数で否決

担は当然▽住民がやれる範囲は住民がやるべき▽行政サービスの根本を認識することが第一歩▽窓口の対応や姿勢がよくない▽サービスコール奉仕の基本がない：など、積極的な意見が多くだされ、次回は六月中に開催の予定です。

なお委員は次の方がたです。

▽会長＝青木清（製材協同組合理事長）▽委員＝宮野方臣（農業）、成田久和（元町議）、成田多一郎（財産区委員長）、山城康男（農協参事）、野崎修一（医師）、津谷常蔵（農業共済参事）、武藤妙子（主婦）、豊村美郎（地区労働議長）、佐藤正（秋田銀行支店長）

NHK・FM

「リクエストアワー」公開録音

■日時 6月30日（日）

午後1:30～5:00

■場所 鷹巣町中央公民館

■ゲスト 岸田智史

日本海中部地震から二年

「県民防災の日」に想定訓練

昭和五十八年五月二十六日正午に発生した、マグニチュード七・七の日本海中部地震の体験を生かそうと、「県民防災の日」を設定して、県内では情報のスムーズな伝達や安全な避難、誘導訓練が行われました。

町では、五月二十五日午前十時三十分、地震発生にともない役場一階湯沸室から、火災が発

生したという想定で防火訓練を実施。非常ベルがけたたましく鳴ると、庁内放送で職員の避難を指示。重要書類を非常袋に入れた職員や、三階の会議の出席者、窓口への来庁者など三カ所の非常口から、役場前の駐車場に避難しました。

一方、役場の職員が消火活動を開始するとともに、通報で消防本部からポンプ車、ハシゴ車が到着、放水されました。

また、屋上には逃げ遅れた職員が救助を求めており、消防本部のレンジャー部隊がバスゴ車での救出活動が行なわれました。訓練では、発煙筒をたき庁舎から煙が流れでるなど、職員や町民は緊張ぎみに参加し、災害の恐ろしさが再現されました。

訓練終了後、出川町長は「緊急時には訓練どおり行かないが、日頃の積み重ねが大切で、より安全に迅速な行動で対処してほしい」と講評を述べました。



■ 二年ぶりに佐々木知事の訪問あり。多少の施設を一覧した後、役場会議室で町内各団体長など約三十人が出席して「行政懇談会」が開かれた。県政報告のあと町および団体から、当面の諸問題について要望、意見の具申と回答があった。

国防災協会の総会があり、金丸信会長をはじめ会員など七百人以上出席して盛大に行われた。

■26日(日) 大館市長根山競技場で郡市の小・中学生を対象に郡市交歓陸上競技大会が開かれた。近年、本大会への参加校がとみに増加した。鷹

組合の管理者等の会議が行われ、主として六十二年以降に予定されている、ゴミ焼却場建設について協議をした。

■ 秋田県町村会臨時總會。二年に一回の臨時總會が光った。

2002年11月 中华医学会青海

会では、任期満了による会長



新長日誌

出川禮一

分会考察団交流懇親会に出席。

ほか一連の人事の選任である。

考察団の一行は、県内医療機

28日(火) 能代市で阿仁川

関視察の一つとして、北秋中、

タム建設 米代川治水 国道

中央病院主崔で、町内の医市

一、新井、中野、上野、三、其、月、司、盟、会、総、会、が、開、か、れ、た。

も含めた懇親会となった。折

商工会総代会懇

から留学中の営農大生も

親会が開催された。会は五十

加わり、日中友好の輪が築か

九年度の事業報告、収支決算

れた。

資料で一見するに順調で

20日(水) 町内小学校の交

■豊木高、鷹高の
健全に執行されている

鷹巢競技場に代わり、鷹巢小

野球定期戦で「勝負」とらわ

グラントで実施された。

れないで、大胆にプレーして

この日の午後、秋田市で全

ほしい」とあいさつを述べた。

伝統とふるさと文化が誕生

餅っまり

▶晴天に恵まれた祭りのデ
ーブカッ



◀紅白の重ねモチをのせた大八車
を引く子供たち

町婦人団体連絡協議会(中島喜代会長)は、鷹巣町に新しいふるさと文化を定着させようと、町、商工会、観光協会などの協力をえて、第一回の「ふるさと踊りと餅っまり」を六月二日に開催し、終日多くの人出で賑わいをみせました。午後九時三十分から役場前で、神事、開会式、テープカットが行われたあと、日本一の綴子大太鼓を先頭に、婦人会、子供会など千人が参加。鷹巣音頭のメロデーにあわせて、そろいのユカタで踊りを披露。二台の大八車も繰り出すなど、町内の目抜き通りを二時間にわたって練り歩き、一万人の観衆を魅了しました。

児童公園では婦人会などの、手づくりの餅が即売され、ユベシ、大福、さだら餅などが飛ぶようにさばかれていました。午後一時からは、八つつの白でモチつきが行われ、ものめずらしそうに三千人が参加。かわるがわる杵を振りあげて、モチをつきあげ、キナコ、アンコ、ナツトウモチなど、おいしそうに食べていました。

また二時からは、中央公民館で、「大潟八郎ショー」が開かれ、超満員の観衆は大爆笑。婦人の力の結集で、町に新しい伝統とふるさと文化が誕生しました。

鷹巣地区

脳卒中や心臓病の予防に 一般健康診査を受診しよう

昨年、町では脳卒中、心臓病で死亡した人が七十四人もおり全死亡の約四割を占めています。

このため、町では四十歳以上の方が対象に▽一般検診(尿検査、血圧測定、聴打診など)▽精密診査(心電図、眼底検査など)を実施することになりました。

鷹巣地区(あけぼの町を含む)では、次の病院、医院で診査を行うことになりましたので、ぜひ受診されるようお知らせいたします。

■一般健康診査実施日▽6月18日(火)、19日(水)、20日(木)、21日(金)、25日(火)、26日(水)、27日(木)の七日間

▽盛岡外科医院▽毎日午前八時三十分から正午まで
▽奈良医院▽26と27日を除く午後二時から四時まで
▽北秋中央病院▽毎日午後一時から三時まで
▽佐藤外科医院▽毎日午前八時三十分から午後零時三十分まで



▽佐々木産婦人科医院▽午前九時から午後六時まで
▽白田産婦人科医院▽午前九時三十分から正午まで
※検診料は一般診査が百円、精密診査が六百円。

▽藤原医院▽毎日午前八時三十分から午後五時三十分まで
▽鷹巣病院▽毎日午前九時から十一時まで
▽鷹巣クリニック▽午前九時から正午まで
▽としま内科医院▽午前八時三十分から午後四時三十分まで
▽近藤医院▽午前八時三十分から正午まで
▽戸嶋産婦人科医院▽21日を除く午後一時三十分から三時まで

町村合併三十周年記念式典

▼六月二十八日(金)午前十一時から鷹巣体育館で開催いたします。

三十年の歴史を二十一世紀の町づくりに生かそう



▲目坂通りを千人で踊る鷹巣音頭

▲手づくりのモチを求めて賑わつ児童公園



西小学校が環境緑化の

全国コンクールで入選

西小学校は、学校花だんや周辺の樹木の環境緑化が、優れていることから、五十九年度全日本学校環境緑化コンクールで入選するとともに、全県同コンクールでは最優秀校に選ばれ、五月二十一日西木村で行われた全県植樹祭で優勝旗が手渡されました。

西小学校では、昭和四十六年に、坊沢、七座、緑ヶ丘、黒沢小学校が合併。四十八年二月に新校舎落成とともに、環境の緑化に努め、五十二年

には、ツツジやサツキ、ウメモドキなど、樹木の手入れをすると同時に、アイデアを出しあつて、庭園花だん、いこいの庭、みのり園などに、水仙、チューリップ、サルビア、マリーゴールド、アサガオ、ヘチマ、ヒマワリ、ジャガイモなど計画的に植え、草取りなどの作業は、隔週木曜日の午後、実施するようになっていきます。

学校では、子供たちが自主的に計画を立て、花木にふれることによつて、「みんなと力を合せて自然を愛す」という、精神の涵養に役立てたいとしています。



学校では、子供たちが自主的に計画を立て、花木にふれることによつて、「みんなと力を合せて自然を愛す」という、精神の涵養に役立てたいとしています。

町社会福祉協議会の収支決算

募金の配分が五四八万円

社会福祉法人鷹巣町社会福祉協議会では、経済的に恵まれない人や、福祉の援助を必要とする老人、体の不自由な方に対して、側面から援助してきました。同協議会では五月二十五日に理事会と評議員会を開き、五十九年度収支決算を次のとおり、承認していただきましたので報告します。なお、町民のみなさんからは、たくさんのご芳志や善意をお寄せいただき、厚くお礼申しあげます。

昭和五十九年度の社会福祉協議会の収入総額は四千五百九十九万九千六百六十九円、支出総額は四千三百三十八万九千九百九十一円で、差し引き四百五十二万七千六百七十八円の剰余金が六十九年度に繰越しになりました。

(収入)

- ▽会費 二二万一〇〇〇円
- ▽普通 (一人五〇〇円) 一八六八分、賛助 (二、〇〇〇円) 六八八分
- ▽共同募金配分金 五四八万八千二百六十六円
- ▽共同募金、在宅福祉サービス事業、歳末たすけあい、NHK歳末たすけあいの配分金
- ▽補助金 一〇一三万一千八百八十九円
- ▽町補助金 八五万六千九百九十九円
- ▽県社協補助金 一五万二千八百〇円
- ▽委託金 二一〇万六千七百九十九円
- ▽家庭奉仕員、保育園給食助手、児童館厚生員、入浴車の委託料

- ▽寄付金 四八二万七千三百一十五円
- ▽香典返し 三〇一万五千円、一般寄付金 六五万二千三百一十五円、指定寄付金 (安田火災、車輛公益) 一六万六千円
- ▽財産収入 二七万五千円
- ▽基本財産 利子
- ▽繰越金 三三万八千九百二十二円
- ▽諸収入 五十一万〇八百八十八円
- ▽預金 利子、火災共済事務費

(支出)

- ▽会議費 二五万八千四百二〇円
- ▽理事、評議員の手当、旅費など
- ▽職員費 一〇六万九千八百三十九円
- ▽事務費 六〇万〇五百三十二円
- ▽事業費 七四万三千九百七十五円
- ▽地域福祉活動推進費 三万四千五百八十三円
- ▽活動車購入費、ボランティア育成費、ビデオ購入費、旅行困窮者旅費、町福祉研修大会参加費など
- ▽福祉振興費 八五万八千八百八十八円
- ▽児童、母子、老人、身障、障害福祉や日赤奉仕団、少年赤十字団、特殊学級、遺族会などの育成
- ▽歳末援護費 三万三千三百八十九円
- ▽町委託事業費 二一九万七千五百七十五円
- ▽家庭奉仕員 (五人)、保育園給食助手 (二人)、児童館厚生員 (四人) の給料、旅費のほか需用費
- ▽諸支出金 四〇万八千八百五〇円
- ▽県、郡社協会費や心配ごと会計、民生委員協議会繰出金など

お子さんが3人以上の方は 児童手当の現況届を

6月30日まで

安定した家庭生活と、児童の健全な育成をはかるための制度として、児童手当制度があります。

この制度によって、町から児童手当の支給を受けている方は、ことしの四月末現在で三百三十一人に達していますが、児童手当を受ける方は、すべて年一回「児童手当現況届」を、役場に提出しなければならぬことになっています。

この児童手当現況届によって、町では、児童手当の支給を受けている方の前年所得の状況、児童養育の状況などについて確認をし、引き続いて

児童手当の支給を受けることが可能かを判定することになっています。

もし、この届を出さないと引き続いて支給を受ける資格があっても、六月分以降の児童手当の支給を受けることができなくなりますから、注意してください。

児童手当を受ける けられる人は

十八歳未満の児童を三人以上養育しており、そのうち一人以上が義務教育終了前(中学校を卒業するまで)の児童であれば支給されます。

児童手当の月額額は、三人以上の児童のうち、出生順に数えて三人目以降の児童で、義務教育終了前の児童一人につき五千円(五十六年十月から町民税所得割の額がない受給者は七千円)です。

なお、児童手当の支給、その他この制度について、わからないことがありましたら、役場町民課福祉係(電話六二二一)へお問い合わせください。

くらしと年金

新しい年金制度 ①

21世紀へ向けて



新年金法が成立

さる四月二十四日、「国民年金法等の一部を改正する法律」が成立し、来年四月一日から施行されることになりました。

大変分りにくいと言われる年金法ですが、それでは一体どこがどう変わるのでしょうか。今回からシリーズでその内容を少しずつ紹介していきます。

三つのポイント

▽基礎年金の導入 ▽適正な給付と負担 ▽婦人の年金の確立

……この三つが今回の改正の大きなポイントです。

日本の平均寿命は男女とも世界有数の長さに達し、「人生八十年時代」を迎えています。

老後が長くなるということはそれだけ年金受給者が増え、受

給期間も長くなることです。

年金制度は、皆さんの保険料を的確に運用しながら将来の財源に充てていますが、現在では保険料の徴収と年金受給のバランスが崩れつつあります。

いまから見直しを行わないと、高齢化がピークを迎えるといわれる二十一世紀の始めには、年金制度そのものが崩壊してしまう恐れがあるのです。

三つの公平

そういう意味で、改正法は昭和三十六年に国民年金法が成立して以来、社会の変化とともに次第に拡がってきた様々な格差を解消し、新時代の総合的な社会保障を目指したのと言えるでしょう。

これをまとめると▽世代間の公平 ▽制度間の公平 ▽男女

間の公平……ということになります。

適正な負担と給付により「世代間の公平」を図り、基礎年金の導入により「制度間の公平」を図ります。また、いままです任意加入とされていたサラリーマンの奥さんも、全てが加入者となって、将来は自分名義の年金が受けられるようになるのです。

現在の受給者は
影響ありません

現在、国民年金を受給している人、また来年四月一日までに六十歳になる人の年金額には全く変わりありません。ご安心ください。

新制度の紹介
ビデオ貸します

社会保険庁では、新制度の正しい理解と広報を図るために、『知っておきたい新年金制度』と題するビデオ・テープ（六〇分・VHS方式）を作成しました。改正法の内容を分りやすく、加入者の疑問に答えながら紹介しています。

当町にも用意してありますので、地区・婦人会・青年会などの会合の際に、皆さんでご覧いただきたいと思います。

くわしくは、町民課年金係（六二一―一―内線一二三）までお問合せください。

おしらせ

米国派遣農業
研修生を募集

意欲と情熱ある農村青年のアメリカ研修生を募集しています。

▽募集人員 全国から二百人

▽募集期間 七月末日まで

▽派遣期間 二カ年

▽応募資格 十九歳以上二十

七歳未満の独身男子で、高卒

以上の農業従事者、または農

業関係研修機関、短大、大学

の最終学年在学中の者

▽必要経費 二年間に必要とする経費（往復旅費、学習費、生活費など）の殆んどは、農

場実習の報酬で賄えますが、

その不足額十万円は県から補

助される見込みです。但し、

助成のない場合は自己負担と

なります。

▽申込先 秋田市山王四丁目

の一「秋田県農政部普及教

育課青少年担当」（☎〇一八

八―六〇―一四九六）へ

商業・サービスの
労働時間の特例廃止

労働基準法では、労働者を使用する場合、休憩時間を除き一日八時間労働制の原則を定めています。従来、商業、サービス業のうち一定の業種（特例業種）については、この原則にかかわらず、特例として一日九時間労働を認めておりました。

しかし、この特例は、昭和五十六年から段階的に廃止され、現在常時十人以上の労働者を使用する事業については、すでに八時間労働制が適用されています。

このたび、規則改正により、十人未満の特例業種の事業については、三年後の昭和六十三年四月一日から八時間労働制となります。

くわしいことについては、秋田労働基準局へおたずねください。

糠沢町営ゴミ埋立地が通行止め

道路拡幅工事のため、六月二十日から八月三十日まで

で閉鎖されます。この間、藤株の町営ごみ埋立地の方

へ運搬してください。



町花いっぱい運動推進協議会では、街を花で飾り、潤のある環境づくりのため、花だんコンクールを実施することになりました。

花いっぱい運動を実践している団体やグループ、職場などから、次によりたくさん応募されるようお願いいたします。

▽応募資格〓老人クラブ、婦人会、子供会などの各種団体、学校、職場、町内会、一般家庭

▽申込み方法〓中央公民館に備え付けている申込書に、花だんの見取図を添付してください。

花だんコンクールに参加しよう

▽期日と締め切り〓六月三十日まで、町中央公民館内・花いっぱい運動推進協議会あて

▽審査〓第一次は七月下旬から八月上旬まで、第二次は九月下旬から十月上旬まで、それぞれ現地巡回審査を行う。

▽発表および表彰〓特別優秀賞、優秀賞、優良賞、努力賞とし、十月下旬に通知。文化祭で表彰を行う。

農林高校で花や庭木の緑に親しみ、健康増進を図るため花や家庭菜園、庭園づくりを楽しむ人が増えてきましたが、鷹巣農林高校では、正しい知識を身につけてもらおうと、初心者を対象に「花と健康菜園（中国野菜）教室」と「庭園と庭木の手入れ教室」の二教室を開設することになりました。

▽期日〓六月二十二日、二十九日、七月六日、八月三十一日、九月七日、十四日、の六日間。

いずれも土曜日で午後一時三十分から四時三十分まで

▽場所〓鷹巣農林高校

市民学校を開設

農林高校で花や庭木の

▽対象〓成人の男女で各教室とも定員二十五人

▽申込み〓六月十九日（水）まで、鷹巣農林高校・市民学校係（庄司先生：☎六二一〇七六〇）か、中央公民館（☎六二一一一三〇）へ。ただし定員なりしだい締め切らせてもらいます。

鷹巣女子専門学校では

「和裁」と「着付」教室

学校法人鷹巣女子専門学校では、「和裁教室」と「きもの着付教室」の市民学校を開設し、多くの町民に技術を取得してもらうことになりました。

初めての方でも気軽に参加くださるようお願いいたします。

▽和裁教室

▽期間〓六月二十九日（土）～八月十日（土） 毎週土曜日午後一時から四時まで。

▽学習内容〓ユカタのつくり方について（実習）

▽きもの着付教室

▽期間〓七月一日（月）～九月三十日（月）。午後一時から三時三十分まで。

▽学習内容〓きもの一般的な常識と一人でできる着付けの実技指導。

▽申込み〓鷹巣女子専門学校（☎六二一二五一九）

※いずれも場所は、鷹巣女子専門学校で、定員二十人です。

人物伝 89

田村 幸之助

「八九七―一九六四



戦前戦後、この地方の森林資源は町村の財政をどんなに潤したか知れない。田村幸之助は戦争に明け暮れた昭和初期、栄村村長をつとめ、広い面積に杉の植栽をすすめ、村財政の確立をはかった人である。

幸之助は明治三十五年五月栄村大字沢屋敷四六、田村幸吉の長男として生まれる。摩当小学校、鷹巣小学校高等科を経て、当時七日市に創立した北秋田郡立農林学校に入学成績が優れ、授業料免除の特待生となる。また、当時としては珍しい剣道初段の腕前である。

あった。在学中に学校は県立に昇格して鷹巣に移転、彼はその第一期生として、大正四年三月卒業する。

卒業後は役場に入り、大正十二年より栄村収入役、昭和三年より助役になるが、昭和六年十二月、小坂祐松村長の死去の後をうけて栄村村長となる。以後、終戦により公職追放をうける昭和二十一年十二月までの十五年間をつとめる。

昭和十年より十五年までは鷹巣農業倉庫理事長、昭和二十六年には追放解除となり、町村合併後の町会議員を一期つとめるほか、栄農協組合長を長期に亘りつとめ、県厚生連理事、畜産組合理事なども歴任する。

彼が首長の座にあった十五年間はまさに戦争一色の時代で、万事がおかみの指示どおり動かねばならなかった。首長としての彼は、慎重で万事石橋を叩いてわたるというタイプであった、反面、短気であったとの評もある。彼が残した村の財産は後にこの地区の公共施設に役立った。昭和三十一年二月没（栄郷土誌、小坂保雄、田村多市氏談）

文責〓長崎 久

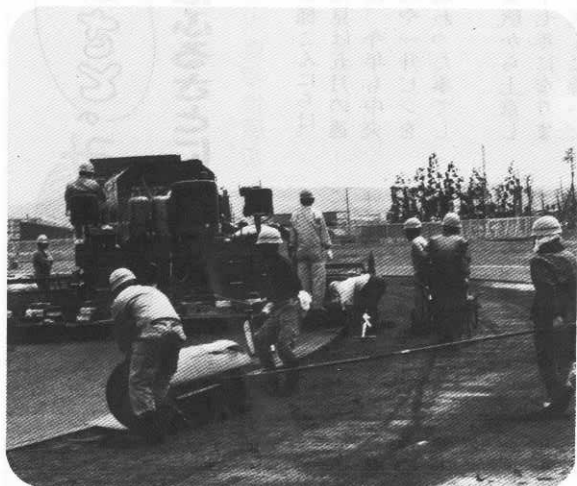


悪質な販売に注意しよう

「暮らしに確かな目を生かそう。」と、5月27日から6月2日まで「消費者意識を高める週間」が実施されましたが、町では5月30日中央公民館で消費者会議を開催しました。最近、訪問販売、通信販売やマルチ販売など、悪質な販売による被害が続出していることから、賢い消費者になるために、県生活センターから講師を招き、参加者80人は熱心に学習を深めていました。

鷹巣競技場は、第二種公認の更新をするため、大がかりな改修工事が行われました。今回の改修は一昨年
の日本海中部地震による被害が大きかったため、トラックや走高跳び、走幅跳びのピットなどのレズライトを全面張り替えたものです。レズライトの厚さは15～30ミリで、好天に恵まれた五月に本工事が進められ、周囲の緑に鮮かなチョコレート色を映しだしていました。

鷹巣競技場を全面改修す



定期戦鷹高が3ランで決める

雨で順延されていた鷹巣農林高と鷹巣高の町長杯争奪野球定期戦が、5月31日町営球場で行われました。6回目をむかえた定期戦は、両校の応援団も加わって熱戦が展開され、鷹巣高は初回鷹農の守備の乱れから1、3塁にランナーを置いて、ピッチャーの三沢がライト線のフェンスを超える3ランで3点を先取、5対3で6戦をものにし通算3勝3敗のタイとなりました。



ことしで17回目の町芸術文化協会総会は5月27日午後6時30分から、中央公民館三階で行われました。総

会には40加盟団体から60人が出席。事業報告、決算、予算を審議したあと、▽芸文団体を育成し芸文活動の活性化と生活文化の質的向上を図る▽青少年の芸術文化活動の推進を図る…など一年間の目標を確認。新会長には、嶺脇新一氏が選ばれました。

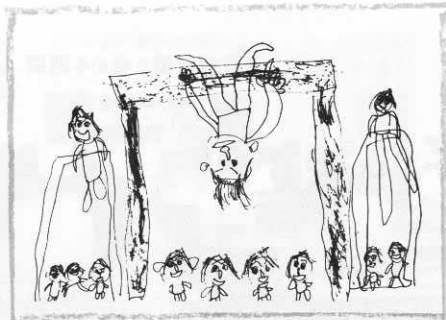
青少年の芸文参加を目標に



の広場



西幼稚園
さくらい ゆうやくん(五歳)

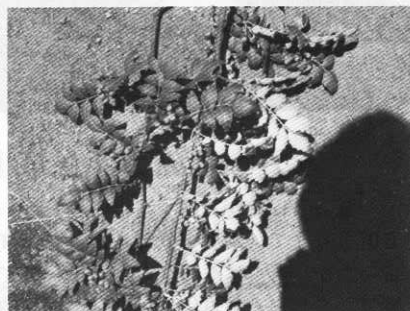


人間の生活には、必ず「捨てる物」すなわちゴミが出ます。昔の人が、食べたあとに捨てた貝



これまで「ゴミを捨てないで」をテーマに、それぞれの方から感想を述べてもらいましたが、みなさんの感想や考えがいかされるようにということから、鷹巣保健所長・工藤武二氏から助言していただきました。

がらの山が、「貝塚」として今でも発見されていることが、これを証明しています。
いま、私達のゴミは計画的に燃えるゴミ、燃えないゴミに分けて集められ、焼却し、燃え残りは埋立てされています。これらの費用は、税金でまかなわれ、最近はこの費用が増大して、鷹巣町では、昭和五十八年度の費用が、四、三五〇万円です、一人約一、七二〇円にもなります。



サンショウ
(ミカン科)

山地に生える用途の広い落葉低木。実を一握りみそに入ると変わらないと昔から言われている。夏場のぬかみそに入れてもよい。ミズたたくやナスむしに欠かせない薬味でもある。

(南小学校 島山 益穂先生)



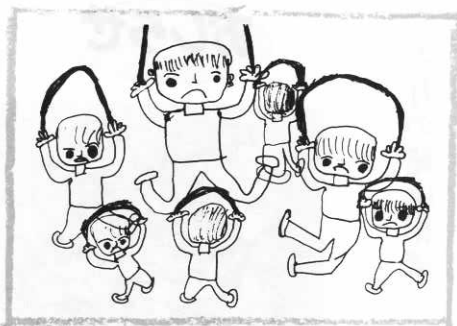
ふるさとの皆様こんにちは。鷹巣町のお花見は五月の連休が見頃ですね。今年も中央公園では手料理や一升ビンを抱えた人達が賑わった事でしょう。

神奈川県相模原市 田中澄子(35)

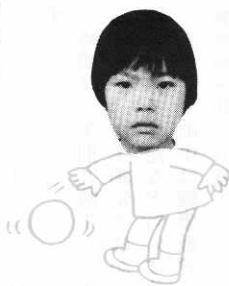
ふるさと、みなさん
こじはふるさとに思い切り甘えたい

さて私が鷹巣駅から上京しましてから早十七年になりましたが、私の様に遠くに嫁いだり就職をされている方が沢山おられる事でしょう。今年も若い人がそれぞれの思いで鷹巣駅から巣立つて行かれた願っています。

私は鷹巣駅の改札口で切符を手渡す時間が躍ります。私のふるさとへ帰って来たんだなあって思います。今度夏に三年振りに帰省します。その時は特別に子供に切符を渡す役目をゆずってあげようかなと思っています。
ふるさとの皆様、今年はふるさとに思い切り甘えに帰ります。
▽田中さんは高村岱・倉内芳造さんの長女です。



西幼稚園
なりた るりこちゃん(五歳)



みんな



この中で、ダンボールや鉄くずなどの再利用できる資源ゴミや、家具、家電製品などでも、使えるものも捨てられています。

また、「空き缶」等は、道路や広場に投げ捨てられ、善意の人達がいくら片づけてもあとを絶ちません。結局、見るに見かねた人達が、これ以上汚れた街にしないよう、活動し始め、各地区の団体を中心にして、クリーンアップ活動が盛り上がりしました。

これは「全町一斉清掃」や、九月十五日に実施が予定されているクリーンふるさとデー」などの、「美しい郷土づくり」運動となり、参加する人数も次第に増えてきていることにも現れています。

広報のひかり

梅干し

梅干しは

どこの家庭

にもあるといっても、過言ではないほど昔から親しまれている漬物です。

梅雨の季節は梅が熟し、梅干し漬けにふさわしい時期、取り組んでみましょう。

熟しぎみの梅に、目方の二〇〜二五%の塩をふりかけながらカメなどに詰め、梅の目方と同量の重しをしてから、ホコリな

しかし、一方では早朝や夜間の人目につかない時に、山林や道路わきに不法な投げ捨てをするなど、悪質な例もあり、警察に検挙される件数も多いのが現状です。

このような、不法な投げ捨て行為は、本人の自覚と、モラルに訴える以外に防止方法はありません。

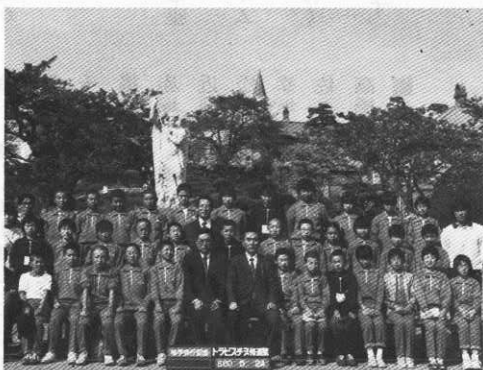
「住みよい、きれいな街づくりは、皆んなの力で」の意識を高め、活動に参加することが大切だと思います。

保健所でも皆様のご意見等を参考に、関係機関とも連携をとりながら「美しい郷土づくり運動」の推進に努力しておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

どが入らないように紙でおおう。赤ジソは、梅五〜六キロに一束くらいの割合で用意をし、葉を一枚一枚むしりとり洗った塩をふつてもむ。黒いアクが出るからこれを捨ててきつちりと絞る。梅をザルにあげ、カメに残っている白梅酢に入れてさらにむと鮮やかな赤梅酢になる。この中に梅をもどして漬けこみ、土用に入ってから晴天が続くようになったら、三日三晩、昼の太陽と夜露に当てる。これが皮を柔らかくし味をよくするコツ。保存容器に詰めて保管する。

写真は明治30年、七日市尋常小学校の修学放行の記念撮影。当時は舟で能代にくだって写したもので、キモノにスネモツペといういたち、素足のところをみるとソウリを履いたと思われる。現在の南小学校は竜森小学校と合同で函館へ足を延ばしています。

(写真提供は東横町・長崎京さん)



たかのすの昔

おしらせ



一般美術会連合会 九島京二氏

六月の健康相談

六月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、二十六日です。

時間は、午前九時半から午後三時まで。血圧測定のほか、尿検査、体重測定など行います。

また、午前中は健康教育で、糖尿病予防の日常生活について、午後は健康体操など行います。

※場所は、いずれも中央公民館保健相談室です。

厄年になったら健康診査を受けよう

高齢化社会をより健康に生きるため、四十二歳の方を対象に厄年検診を次により実施します。

▽日時 六月二十四日、午前六時から七時まで受付します。

▽場所 中央公民館ホール

▽検診内容 胃検診、一般健康診査（心電図、血液検査、眼底、血圧、尿）、胸部精密検診
▽検診委託 北秋中央病院
▽個人負担 千四百円（国民健康保険加入者は無料です）

麻疹（はしか）の予防接種

麻疹（はしか）の予防接種を六月十八日から二十一日まで行います。

対象者は六十年六月十八日現在で、生後十八ヵ月から三十六ヵ月になる幼児（ただし生後十二ヵ月から七十二ヵ月に至る幼児も受けられる）です。

接種券の交付を受けた方は、次の病院（医院）で受けてください。時間はいずれも午後一時から二時まで。

18日 藤原医院 19日 奈良良医院 20日 北秋中央病院 21日 戸島内科医院

※接種する時は、接種券、母子手帳、問診票を忘れずにお持ちください。

胃の検診忘れずに受診しましょう

胃集団検診が各地域で実施されます。

日程は次のとおりですので、必ず受診してください。都合により、日程どおり受診できない方は、もよりの場所を受けてください。

六月二十五日から七月三日までは次のとおりです（日程は、随時広報に掲載いたします）

25日 松沢、明利又（藤本英夫宅前） 26日 三ノ渡、与助

岱、黒森（畠山佐一郎宅前） 27日 葛黒、大畑（葛黒林業センター） 28日 上舟木（上舟木生活改善センター） 29日 下舟木、吉ヶ沢、深沢（吉ヶ沢深沢会館） 7月2日 中畑、妹尾館、横瀬、品類、岩脇（七日市基幹集落センター）

※検診時間は午前五時半から七時までです。

六月の作業停電は、次の地区です。

停電のお知らせ

▽17日 向黒沢

▽19日 掛泥、大堤

※時間はいずれも、午前九時から正午までです。

善意

▽花園町 長内リワさんから座布団、衣類他三十点

▽前山 野呂ミンさんからオムツ二十一枚

町社会福祉協議会へご寄付くださいました。

ご芳志に深く感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に深く感謝いたします。

▽坊沢上町 佐藤信枝さんから亡夫孝三さんの香典返し

▽舟見町 成田仁さんから亡父仁市さんの香典返し

▽岩脇 岩本喜久治さんから亡父祐藏さんの香典返し

▽田中 九島勇吉さんから亡父仁吉さんの香典返し

▽米代町 坂本道雄さんから亡母セツさんの香典返し

慶弔だより

5月16日～5月31日

誕生おめでとうございます

春日麻紀子（昭美 長女）住吉町

鈴木 義子（真喜男長女）あけぼの	桜井 奈奈恵（幸雄 長女）前野	千葉 沙織（和志 二女）南鷹巣	横田 菜央（浩巳 長女）内幸町	赤塚 誠（幹夫 二男）あけぼの	近藤 鮎美（一 長女）黒森	松尾 佑将（敏行 長男）太田	幸坂 祐弥（勉 長男）掛泥	佐々木 千佳（宣孝 長女）南鷹巣	高橋 聡太（聡久 長男）綴子上町
■二人の前途を祝福いたします									
長 岐 慎治 七日市	成 田 加奈 合川町	岩 本 信夫 堂ヶ岱	成 田 由美子 元町	佐々木 庄一郎 街道町	佐々木 ゆり子 協和町	川 上 秀美 あけぼの	菅 原 紀子 本莊市	沢 田 尚 住吉町	渡 部 由美子 比内町
柿 崎 正志 旭町	伊 藤 由季子 住吉町	岩 谷 忠弘 摩当	熊 谷 節子 前山	木 村 敏裕 新田中	渋谷 敏裕 鹿角市				

おくやみ申しあげます

九嶋 仁吉（58歳）田中
辻 鉄郎（45歳）前野
千葉 亀三郎（73歳）中屋敷
浜辺 光男（48歳）南鷹巣